

学校図書館資料の購入にあたっての留意点

- 使う予定がはっきりしている資料を優先して購入する
- 学校司書の意見を必ず聞く
- 学校のカリキュラム・教科書に沿った資料の購入を心がける
 - 特に小学校の国語の教科書は平成 27 年度に変わったので留意する
- 教諭が授業で使用した資料の記録を取っておく
 - 翌年度の選書の参考にする
- 調べ学習用は、同じタイトルの資料を必要以上に購入しない
 - 同じテーマでも違うものを購入し、児童・生徒の選択肢を増やす
- 「年度初め」「年度末」等の“まとめ買い”をしない
 - 選書・発注の回数を増やして必要なものを随時購入する
- 年度当初に書店が持ち込む見本だけで購入の判断をしない
 - 自校の図書館にないか、必ず確認してから
- 児童・生徒のリクエストどおりに購入しない
 - 「学校図書館」に適したものか、必ず検討してから
- カタログでセットになっている読みもの・絵本（名作・セレクトセット等）を購入しない
 - 既に購入済みのもが入っていることが多い